

J R東日本労働組合

J R東日本労働組合

秋田地方本部

発行者 ~ 佐藤 俊樹

編集者 ~ 教 宣 部

秋田市中通6丁目7-9秋田県畜産ビル1F

TEL 835-4040 FAX 835-4060



秋田ジャーナル

謹賀新年



組合員と家族の皆様、新型コロナウイルス感染症防止に向けて業務や生活で緊張が続く中、健康に留意され新たな一年を迎えられたことに、まずもって敬意を表します。

コロナ禍により、移動を伴うビジネスやレジャーは軒並み激減しました。会社の業績見通しで営業利益は4630億円の赤字を想定し、今年度だけで1500億円のコストダウンを行うとされています。その中における人件費は304億円です。さらに固定費削減など構造改革に全グループを挙げて取り組み、来年度は黒字化するとされています。会社は「変革2027のスピードアップ」で、10年先の出来事が一気に目の前に現れたとされています。会社施策にあるテレワークの充実、新たなジョブローテーションの拡充、中編成ワンマン化、ドライバレス、スイカ事業の拡大など更に加速させていきます。あわせて組織の簡素化など見直しを図ることも言われています。秋田支社内においても、現場と企画部門の組織横断プロジェクトが始まっています。さらに秋田駅のびゅうプラザを廃止して、来年度には「顧客接点型拠点」として、商品販売主体から駅旅コンシェルジュとして業務内容を展開するとしています。また設備関係や検修関係でもCBMの検討や充実化を図るなど、技術的にも技能的にも社員の役割は質の高い高度なサービスが求められていきます。

私たちは、施策実現の過程で社員の意見に耳を傾け、チーム力の底上げに目標を置くことを求め、見切り発車で個別に委ねることはあつてはならないという立場で臨んでいきます。

業績が厳しいいま危機感を押し付け、我慢を強いるだけのコストダウンは、働きがい、概念が個人個人違っても、意欲が減退するところを避けなければなりません。

労働組合の使命は安全と安定輸送を守ることにあります。その根幹を成すのが「すべての、JR労働者の死亡事故・重大労働災害事故ゼロ」を目指すことです。議論に議論を重ねて「安全を守ることは働きがいに通じる」ことを、実感できるような運動を進めていきます。

すでに2021春闘は始まっています。連合は春闘方針を決定し、各労働組合もいよいよ動き出します。情勢は厳しいですが、業績を度外視しても「元氣と活力」を与える労働条件の改善に向け、秋田地方本部は本部に結集して組織力を発揮していきます。

昨年は、秋田地方本部で2名の新組合員が誕生しました。平成と令和採用の若い方が労働組合の必要性を感じて、ユニオンを選択して頂きました。

現場第一線で社員が技術・技能に誇りを持てる環境を目指してきた集団であること、そしてその下地に「心の通った関わり」を大切にしてきたことに自信を持って、拡大を基調に運動を前進させていきたいと思います。

今年1年が皆さんにとって健やかで、笑顔と喜びあふれる年になります。今年もお祈り申し上げます。今年もどうぞよろしくお願い致します。

秋田地方本部執行委員長 佐藤俊樹
 執行部・職員一同